

学校法人 宮崎日本大学学園 生徒寮 桜俊館 様



WAPM-AXETR



BS-MS2008P



BS-MS2016P



VR-U300W

男子棟、女子棟、運動部棟に自宅学習・自習用のWi-Fiを敷設。学園全体で推進するICT学習を、寮生活を送る生徒たちもしっかり取り組めるように



導入先プロフィール (2025年11月現在)

施設名 学校法人 宮崎日本大学学園 生徒寮 桜俊館
所在地 〒880-0124
宮崎県宮崎市新名爪1206-1
URL <https://www.m-nichidai.com/>

学校法人 宮崎日本大学学園 宮崎日本大学中学校・高等学校は「明・剛・直」を校訓とし、自主独立の精神を持つ人材育成に取り組んでいます。中学・高校校舎へのWi-Fi環境整備による1人1台端末環境での快適なタブレット授業の実現に続き、同校の宮崎日本大学学園生徒寮桜俊館(以下、桜俊館)でもWi-Fiアクセスポイントを用いて学習室と食堂にWi-Fi環境を構築しました。これにより、寮生活を送る生徒にも、自宅通学の生徒と同じように、宿題や自主学習の際に個人のモバイル通信データ使用量を気にせずインターネットの利用が可能になり、生徒たちの学習意欲が向上。保護者の金銭的負担も軽減されました。

導入前の課題と効果

課題

- ・自宅生と寮生の学習環境ギャップをなくすネットワーク環境が必要
- ・寮生が複数端末で同時接続でき、ストレスなく使えるネットワークを整備したい
- ・学習用という主目的から逸脱しないよう、時間と場所を限定してWi-Fiを提供したい

対策

男子棟、女子棟、運動部棟に独立した回線を引き、生徒一人あたり複数台(平均3台)のデバイス接続を想定して、食堂と学習室にWi-Fi 6E対応のアクセスポイント「WAPM-AXETR」でWi-Fiを提供。

効果

- ・食堂と学習室で寮生のWi-Fi利用を可能にし、自宅生と同様の学習環境を整備
- ・夕食後のピーク時でもWi-Fiの切断や遅延がなく、動画教材の再生もスムーズ
- ・決められた場所と時間でWi-Fiを提供することで、集中した学習と意欲向上を実現



選定のポイント

同時に多台数の接続を可能にするため、中学・高校校舎で使用しているものと同じアクセスポイントを選定

お客様インタビュー

学校法人
宮崎日本大学学園高等学校
男子サッカー部 コーチ

高木 一秀氏

学校法人
宮崎日本大学学園高等学校
事務局

畑野 弘規氏



寮での学習にWi-Fiが使えるようになり、自宅生同様の学習環境を実現。 生徒の学習室利用も活発になり、学習意欲の向上にもつながりました

概要

- 全寮の学習室と食堂にWi-Fiを整備
- 寮生のICT活用が可能な環境を実現

寮生が帰寮後の学習に使えるWi-Fiを整備

桜俊館には、宮崎市外から入学した中学校・高校の生徒約250名が親元から離れて生活しています。宮崎日本大学学園が力を入れているICT教育を寮でも活用するために、男子棟、女子棟、運動部棟にWi-Fi環境を整備。各棟の学習室や食堂で学習時間にWi-Fiを開放することで、授業で使用しているタブレットや個人所有のPC、スマートフォンを通信データ量や用途の制限なく柔軟に使用しながら、宿題や自習に取り組むことができるようになりました。

目標・課題

- 寮生が自宅生同様に学習できるWi-Fi
- 時間と場所が集中してもつながる環境

自習でも学校でのICT教材を活用したい

「これまで寮に生徒が使えるWi-Fiがなく、宿題や自主学習の際に、自宅に整備されているWi-Fiを利用できる自宅生との環境ギャップが生じていました。」と学校法人 宮崎日本大学学園高等学校 事務局 畑野 弘規氏(以下、畑野氏)は話します。ICT教材には動画なども多く、データ消費量も激しいため、スマートフォンのテザリングにも限度があり、寮生の保護者からもWi-Fiの整備が望まれていました。

限定した時間と場所で集中してWi-Fiを使いたい

桜俊館は約170名が生活する男子棟、約60名が生活する女子棟のほか、2棟の運動部棟があります。課題や自習、受験勉強などを行う学習室と、食事時間以外は談話室となる食堂で、放課後帰寮してから23時頃まで限定で学習用Wi-Fiを提供したいという要望もありました。

解決策

- 寮の全棟にWi-Fiを整備
- 範囲と時間を限定してWi-Fiを提供

4棟の寮全てに学習用のWi-Fiを整備

今回のWi-Fi整備では、男子棟、女子棟、運動部棟2棟に1Gbps回線を導入。女子棟に隣接している駅伝部棟には、女子棟から有線で建物間を接続しました。「夕食後の自由時間に、多くの寮生が同時にWi-Fiを使用するため、学校で使用したのと同じ、多台数同時接続可能な機器を選び、居室に電波が届かない位置に設置しました。」とネットワーク設計を担当した株式会社宮崎通信の濱田氏は話します。

接続可能範囲と接続可能時間を限定

あくまでも学習用のWi-Fiという前提ですが、使用用途やデバイス数は限定せず、全棟約250人の寮生が3台以上の端末を接続しても通信できるように設計しています。その代わりに、Wi-Fiに接続できる範囲と開放時間には制限を設けました。「睡眠を妨げないように、居室には電波を届けず、学習室と食堂という公共スペースで決まった時間だけ使えるように制限しています。」と畑野氏は話します。

効果

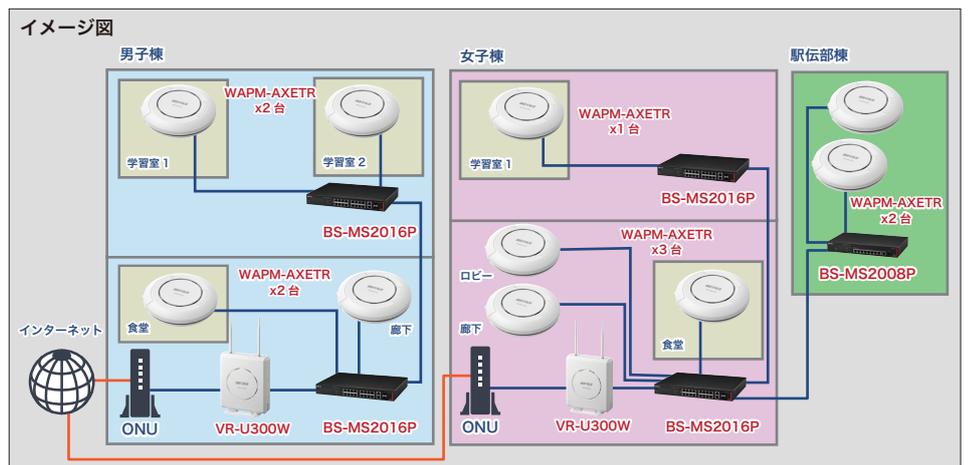
- データ量を気にせず学習が可能に
- 学習意欲が向上し、交流も活発化

自宅生と遜色ない学習環境が実現

Wi-Fiが整備されたことで、寮生も自宅生と同じようにデータ量を気にせずICT教材を使った自習が行え、生徒の家庭の負担も軽減されました。「外国人留学生が友達や保護者とのビデオ通話をする姿もよく見えます。また、Wi-Fiのつながる場所に集まるため、相乗的に生徒の学習意欲が上がるだけでなく、管理者が生徒同士の交友関係を把握しやすくなったという副次効果もありました。」と学校法人 宮崎日本大学学園高等学校 男子サッカー部 コーチ 高木 一秀氏は話します。学校説明会でも寮のWi-Fiは要確認点だったため、入寮予定者の安心感も格段にアップしました。



学習室と食堂にアクセスポイントを設置。通信時間は別室のルーターで自動設定。



男子棟は事務室に、女子棟は寮母室にルーター「VR-U300W」とスイッチ「BS-MS2016P」を設置。それぞれ学習室と食堂に「WAPM-AXETR」を設置して、その中でのみWi-Fiを使用できるようにしている。女子棟から駅伝部棟には同じ回線を空中架線。

●取材協力：株式会社宮崎通信

導入商品



WAPM-AXETR

5年保証※
11ax/ac/n/a & 11ax/n/g/b
法人向けWi-Fi 6E(11ax)
アクセスポイント



BS-MS2008P

5年保証※
マルチギガ(10G/5G/2.5G)
PoE スマートスイッチ



BS-MS2016P

5年保証※
マルチギガ(10G/5G/2.5G)
PoE スマートスイッチ



VR-U300W

VPNルーター
Giga 無線モデル

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長